

成果指標				
成果指標	市民満足度調査結果(レイアウト・文字の大きさ等に対する満足度数の平均値)による。ただし、市民満足度調査は平成21年度以降毎年調査でなくなったことにより、実施年度において実績を記入する。			
指標設定の考え方	広報紙が市民への最も重要な情報提供の手段のひとつであることから、掲載内容等についての市民満足度調査の結果を、より読みやすい紙面作成への基準とし、指標として設定する。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	90	90	90	0
実績	-	-	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	一人でも多くの市民が手に取り、読んでいただけるために、テーマを絞りそれに対する打合せと取材を重ね、親しみやすさ、公平性を最重要視し作成している。今年度は、全国広報紙コンクール広報紙(市部)部門において入選することができた。引き続き市民から信頼され、期待されるとともに、市民の自慢となるような広報紙づくりに向け、努力を重ねていきたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	一人でも多くの市民が手に取り読んでもらえるよう、特集をはじめとした紙面づくりに取り組むことができた。今年度は、愛媛県広報紙コンクール特選、全国広報紙コンクール広報紙部門において入選を果たしたことは、その成果が現れている。引き続き市民に親しまれ、読みやすい広報紙づくりに期待する。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題